

坂監第 346 号
令和8年8月10日

入札参加者 様

坂井市財務部監理課長
(公 印 省 略)

回 答 書

令和8年10月1日執行の入札案件について、下記のとおり質疑がありましたので回答いたします。

記

入札案件：（仮称）東尋坊ビジターセンター建設工事（建築）

質疑番号	回 答
1	Q:現況地盤高さについて、不明ですので御指示下さい。 A:添付資料「V-A003a 現況地盤高図」をご参照ください。
2	Q:構造特記4節.砂利、砂、捨コンクリート地業等の(3)床下防湿層の材料及び施工範囲について、意匠図によると記載がございますが、記載がございませんので、下記のように考えて宜しいでしょうか。(V-S101) ・材料：ポリエチレンフィルム敷 t0.15 ・施工範囲：土間下及びピット下 A:よろしいです。
3	Q:コンクリートの基礎・地上躯体の混和剤について、AE 減水剤及び高性能 AE 減水剤の記載がございますが、全て高性能 AE 減水剤が必要と考えて宜しいでしょうか。(V-S102) A:適宜ご選定ください。
4	Q:7 節.各種コンクリート (3)無筋コンクリートのスランプ 値「15 又は 18」について、S18 と考えて宜しいでしょうか。(V-S102) A:適宜ご選定ください。

5	Q: 7 節.各種コンクリート (3)無筋コンクリートのセメント種類について、普通ポルトランドセメント又は混合セメント A 種及び高炉セメント B 種の適用の記載がございますが、下記の様に考えて宜しいでしょうか。(V-S102) ・捨てコンクリート：高炉セメント B 種 ・その他：普通ポルトランドセメント
	A:よろしいです。
6	Q: B1F 柱：C2・2A のサイズが、下記の様に相違しています。(V-S302.501) ・地階伏図：W1600 ・断面リスト 01：W1500 断面リスト 01 を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
7	Q: B1F 柱：C7(1 通り・Ka・Kc 通り)のサイズが、下記の様に相違しています。(V-S302.501) ・地階伏図：W1500 ・断面リスト 01：W1000 地階伏図を正と考えて宜しいでしょうか。又、柱符号は C2A に読み替えると考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。
	A:よろしいです。
8	Q: B1F 柱:C4 のサイズが、下記の様に相違しています。(V-S501) ・断面図：W1000xD600 ・リスト：W1200xD600 リストを正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
9	Q:基礎梁の主筋の受け筋について、D13 @1000 と考えて宜しいでしょうか。(V-S502)
	A:よろしいです。
10	Q:基礎梁:G1・2・11・12・12A の高さ寸法が、下記の様に相違しています。(V-S502) ・断面図：H1940 ・リスト：H2100 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。

11	Q:基礎梁:G1A の高さ寸法が、下記の様に相違しています。(V-S502) ・断面図 : H1490 ・リスト : H1500 リストを正と考えて宜しいでしょうか。 A:断面図 : H1490 を正としてください。
12	Q:基礎梁:G3 の腹筋が、下記の様に相違しています。(V-S502) ・断面図 : 2-D13 ・リスト : 21-D13 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。 A:よろしいです。
13	Q:梁:2G1 の腹筋が、下記の様に相違しています。(V-S503) ・断面図 : 4-D13 ・リスト : 2-D13 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。 A:よろしいです。
14	Q:梁:2G3 の腹筋が、下記の様に相違しています。(V-S503) ・断面図 : 2-D13 ・リスト : 1-D10 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。 A:よろしいです。
15	Q:梁:2G3 の腹筋が、下記の様に相違しています。(V-S503) ・断面図 : 4-D13 ・リスト : 3-D10 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。 A:よろしいです。
16	Q:小梁:1・2B2 の腹筋・巾止筋が、下記の様に相違しています。(V-S506) ・断面図 : なし ・リスト : 2-D13/D13 @1000 リストを正と考えて宜しいでしょうか。 A:よろしいです。
17	Q:小梁:2B3 の腹筋・巾止筋が、下記の様に相違しています。(V-S506) ・断面図 : なし ・リスト : 2-D13/D13 @1000 リストを正と考えて宜しいでしょうか。

	A:よろしいです。
18	Q:基礎梁(11 通り・P 通り)について、符号の記載がない基礎梁は全て FG3 と考えて宜しいでしょうか。(V-S302)
	A:よろしいです。
19	Q: 2c-2c+3208 間・Kc-Kc+3443 間について、埋戻しと考えて宜しいでしょうか。(V-S301)
	A:該当部分は埋め戻しではなくピットとしてください。
20	Q:耐圧版:FS30A・30M について、伏図に記載がございませんので不要と考えて宜しいでしょうか。(V-S301.302.506)
	A:よろしいです。
21	Q:床スラブ:CS20 について、S20 に倣うと考えて宜しいでしょうか。(V-S302)
	A:よろしいです。
22	Q:スラブレベルが、意匠図と構造図で相違しています。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。又、S20(+500)の記載がございますが全て S20(+600)に読み替えると考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。(V-A102.V-S302)
	A:よろしいです。
23	Q:10-11 間・O・P 間の床が、下記のように相違しています。(V-A113.V-S302) ・I-I 断面詳細図: MS80A+S20(二重床スラブ) ・地階伏図: MS80A(+600) I-I 断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
24	Q:平面詳細図(拡大)にてコンクリート壁について、厚み 600・800 の記載がございますが、構造図の壁リストに記載がございませんので配筋等の仕様を御指示下さい。(V-A102f 他.V-S506)
	A:壁は W40 として、ふかし部分は標準図を参考にしてください。
25	Q:2F 床スラブ:CS30(1-1+2150 間・K-Kb+3650 間)について、CS303 に読み替えると考えて宜しいでしょうか。又、CS3 が正の場合は床断面リストを御指示下さい。(V-S304.506 他)
	A:CS303 に読み替えてください。

26	Q:2F 小梁:B1A(8+1800 通り・O-P 間)について、B1 に読み替えると考えて宜しいでしょうか。(V-S304.506)
	A:よろしいです。
27	Q:2F 床スラブ:S301・302(6-7+4840 間・E-F 間)について、CS301・302 に倣うと考えて宜しいでしょうか。(V-S304.506)
	A:よろしいです。
28	Q:各階パ・ラ・ット及び立上り(屋上植栽廻り)の配筋について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。(V-A105 他)
	・t150 以下 : D13 @200SC ・t150 超 : D13 @200DC
	A:よろしいです。
29	Q:耐震壁について、壁符号 W20 等の記載がございますが EW 符号に読み替えると考えて宜しいでしょうか。(V-S302 他)
	A:よろしいです。
30	Q:2F コンクリート壁:W20(1-2 間・K-Ka 間)の DS 廻りについて、意匠図と構造図にて相違しています。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。(V-A104c.V-S304)
	A:よろしいです。
31	Q:2F 屋上緑化(10-11+3150 間・L-N 間)の外周部立上りが、下記の様に相違しています。(V-A104.106-2)
	・2 階平面詳細図 : パ・ラ・ット ・B-B 断面詳細図(2) : 手摺壁+側溝+パ・ラ・ット 2 階平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:「B-B 断面詳細図(2) : 手摺壁+側溝+パ・ラ・ット」を正としてください。
32	Q:2F 庇(10-11+3900 間・M-O 間)について、排水溝部小梁及びパ・ラ・ットについて、配筋は下記の様に考えて宜しいでしょうか。(V-A106-2.113)
	・小梁 : 主筋 2/2-D13、STP D10 @200 ・パ・ラ・ット : D13 @200DC
	A:よろしいです。

33	Q: 2F 庇(10-11+3900 間・M-O 間)の床スラブの厚みが、下記の様に相違しています。(V-A106-2.V-S304) ・B-B 断面詳細図(2) : t150 ・2 階伏図(A-sec) : t200 ・2 階伏図 : t300(CS303) B-B 断面詳細図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。又、配筋は床断面リスト CS303 に倣うと考えて宜しいでしょうか。
	A: 2 階伏図(A-sec) : t200 を正としてください。
34	Q: 2F 設備機器置場 1 の四角(W900xD600 3 か所)について、設備基礎 H150 と考えて宜しいでしょうか。(V-A104b)
	A:よろしいです。
35	Q: EV2 ピットのピット底の嵩上げ H550 が下記の様に相違しています。(V-A107-2.113) ・C-C 断面詳細図(2) : コンクリート t250+スタイロフォーム充填 t300 ・I-I 断面詳細図 : コンクリート t550 C-C 断面詳細図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。又、コンクリート内の配筋:D13 @200DC が必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。
	A:C-C 断面詳細図(2)を正としてください。コンクリート内の配筋:D13 @200DC が必要と考えてよろしいです。
36	Q: EV1 ピットの嵩上げ H300 について、EV2 ピットに倣うと考えて宜しいでしょうか。(V-A107-1)
	A:よろしいです。
37	Q: EV1 ピットのピット深さが、下記の様に相違しています。(V-A101.107-1) ・ピット平面詳細図 : FL-1250 ・C-C 断面詳細図(1) : FL-1500 C-C 断面詳細図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
38	Q:配管ピットの釜場(700x700)について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。(V-A101) ・コンクリート : t300+ハンチ(45°) ・配筋 : D16 @100DC
	A:別添「V-S604 詳細図 04」をご参照ください。

39	Q:湧水ピット及び消火水槽の釜場について、ピット伏図に記載がございませんが、釜場 700x700xH700 1 か所づつ必要と考えて宜しいでしょうか。(V-A101)
	A:湧水ピット間の基礎梁には連通管を設けます。窯場(700x700xH700)はピット内に合計 7 箇所見込んでください。
40	Q:人通口及び通気管・通水管の補強筋について、12.2 梁貫通孔の H 型と考えて宜しいでしょうか。又、補強形式は下記のように考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。(V-A101.V-S205) ・人通口(φ 600) : H5 ・通気管(φ 150) : H2 ・通水管(φ 150 半割) : H1
	A:別添「V-S507 断面リスト 07」をご参照ください。
41	Q:煙突基礎について、無筋コンクリートと考えて宜しいでしょうか。(V-A210)
	A:D13@200 としてください。
42	Q:EV1 シャフト内の増打部(梁除く)の配筋について、D13 @200SC と考えて宜しいでしょうか。(V-A214)
	A:よろしいです。
43	Q: B1F オープン展示・1F 回廊の吹抜廻り垂下り壁のコンクリート小口(W100xH200)について、D13 @200SC と考えて宜しいでしょうか。(V-A201 図)
	A:よろしいです。
44	Q:階段 1 の段床・踊場が、下記のように相違しています。(V-A205.V-S506) ・部分詳細図(5)(階段 1) : t215.87~350 ・断面リスト 06(階段) : t200 部分詳細図(5)(階段 1)を正と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
45	Q:階段 1 のコンクリート手摺壁の配筋について、D13 @200DC と考えて宜しいでしょうか。(V-A205)
	A:よろしいです。
46	Q:曲面屋根庇(4-7 間・B-E 間)t200 の配筋について、D13 @200DC と考えて宜しいでしょうか。(V-A104e 他)
	A:別添「V-S604 詳細図 04」をご参照ください。

47	Q: B1F 電気室・後方通路の階段(6・3 段)について、階段符号:ST2 と考えて宜しいでしょうか。(V-A102h)
	A:よろしいです。
48	Q:設備基礎のコンクリートについて、Fc36N/mm ² ・S15 と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
49	Q: PC 屋根の PC 受け鉄骨:φ 139.8x6.0 の均しモルタル及びアンカーボルトについて、下記のように考えて宜しいでしょうか。(V-A109)
	・均しモルタル: 200x200 t30
	・アンカーボルト: 2-M20 L400
	A:別添「V-S604 詳細図 04」をご参照ください。
50	Q:構造体強度補正について、打設時期及び区分の分かる資料を御配布下さい。
	A:適宜判断してください。
51	Q:参考内訳書の土工の根切について、堆積土・岩の区分がございますが区分範囲が不明ですので御指示下さい。(参考内訳書 P.9)
	A:「V-A511-512 想定地層断面図」をもとに区分しています。「Ki(WR) 風化帯」及び「Ki(R)弱風化帯」を岩として扱っています。
52	Q:参考内訳書の土工の埋戻土について、構造特記仕様書にて A 種及び B 種の記載がございますが、参考内訳書に倣い全て A 種と考えて宜しいでしょうか。(V-S101.参考内訳書 P.9)
	A:よろしいです。
53	Q:異形鉄筋について、今回図面数量と参考数量にて下記のように乖離しています。今回図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。
	・参考数量: D10 11.7t、D13 208t、D16 61.9t、D19 129t、D22 133t、D25 245t、D29 83.9t、D13.4t=合計 851t(NET)
	・今回数量: D10 2.6t、D13 295t、D16 152t、D19 19.5t、D22 1.1t、D25 259t、D29 58.5t、D32 19.8t=合計 755t(NET)
	A:工事設計書の数量を正としてください。

54	Q:鉄筋圧接が今回図面数量と参考数量にて下記の様に乖離しています。今回図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。 ・参考数量：D25-D25 6433 か所、D25-D29 294 か所 D29-D29 2184 か所、D29-D32 168 か所、D32-D32 138 か所、 =合計 9217 か所 ・今回数量：D19-D19 243 か所、D25-D25 6564 か所 D25-D29 128 か所、D29-D29 1668 か所、D32-D32 416 か所、 =合計 9019 か所
	A:工事設計書の数量を正としてください。
55	Q:普通コンクリートが今回図面数量と参考数量にて下記の様に乖離しています。今回図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。 ・参考数量：躯体 1462m³+基礎 2615m³=合計 4077m³ ・今回数量：躯体 1641m³+基礎 2796m³=合計 4437m³
	A:工事設計書の数量を正としてください。
56	Q:型枠が今回図面数量と参考数量にて下記の様に乖離しています。今回図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。 ・参考数量：地下 8128m²+地上 7861=合計 15989m² ・今回数量：基礎 3435m²+地下 5379m²+地上 9090m² =合計 17905m²
	A:工事設計書の数量を正としてください。
57	Q:屋上テラスにおいて、人工ウッドデッキ下地一部 ZAM 鋼板束の明確な範囲が不明です。御指示下さい。(V-A020)
	A:「人工木ウッドデッキ(FD デッキ)」及び「PC タイル 600 角」部分全て ZAM 鋼板束の範囲です。
58	Q:屋上手摺壁の仕上を御指示下さい。(V-A105～112)
	A:外装薄塗材 Si-1(日研 MSA-1000G 瓦塗料粗 同等)としてください。
59	Q:樋の記載がありません。雨水排水経路を御指示下さい。(V-A032.033)
	A:「V-A401 雨水排水計画」参照ください。
60	Q:内部仕上表より、床スラブ高～床仕上高のレベル差は増打コンクリートにて調整と考えて宜しいでしょうか。(V-A016)
	A:よろしいです。(不陸調整と RC 表面強化剤の押さえとして 10mm を見込んでいます。)

61	Q:ELV1 において、床及び壁欄に薄膜型水性アクリル樹脂系防塵塗料とケイ酸質系塗布防水の記載がありますが、使い分け範囲が不明です。御指示下さい。(V-A016)
	A:床及び地下外壁、湧水ピットに接する壁は「ケイ酸質系塗布防水 C-UI」、その他は「薄膜型水性アクリル樹脂系防塵塗料」としています。
62	Q:特記無き限り機械基礎の仕上は床仕上同材と考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
63	Q:B1F 非常用発電機室において、配管ピットのサイズ、チェッカープレート蓋の仕様、仕上を御指示下さい。(V-A016)
	A:下記の仕様としてください。 配管ピットのサイズ W=350・H=200, チェッカープレート蓋の仕様 スチール縞鋼板製 ピット蓋板厚 4.5 mm、 処理 エポキシ樹脂コーティング 合計 6m としてください。詳細な位置と経路については、施工段階にて設備図及び発電機メーカー施工図により、検討することとします。
64	Q:B1F 各所の側溝深さは H100 程度と考えて宜しいでしょうか。(V-A016)
	A:よろしいです。
65	Q:各所仕上表に記載のアートの詳細が不明です。御指示下さい。(V-A016 他)
	A:「V-A801 アート配置計画図」参照ください。
66	Q:風除室において、靴拭きマットの下地、靴拭きマットの参考メーカー品番を御指示下さい。(V-A016～020)
	A:PEM-21 ライトサイズ: H15.4mm 同等としてください。
67	Q:風除室において、自動扉防護柵のフレーム仕様を御指示下さい。(V-A102 他)
	A:ステンレス+強化ガラス SUS750×1100 先付タイプとしてください。
68	Q:B1F 消火ポンプ室において、床配管ピットの範囲、サイズ、チェッカープレート蓋の仕様、仕上を御指示下さい。(V-A016.102)
	A:B1F 消火ポンプ室の床配管ピット及びチェッカープレートについては、見込む必要はありません。

69	Q:WC において、下記項目の仕様及び参考メーカー品番を御指示下さい。(V-A017) ・ 姿見 ・ 身障者用手すり
	A:姿見の寸法は「W(カウンター長さ)×H700」としてください。 身障者用手すりは下記同等の仕様としてください。 「洗面：HB-2905-01」 「小便器：HB-2918-01」 「大便器：HB-2912-02-R/L」 ハットドライヤーは「クリーンドライヤー 吸引・高速両面タイプ (HEPA フィルター付)」 同等としてください。
70	Q:B1F 倉庫において、床点検ハッチ 1200×1200 の仕様を御指示下さい。(V-A018.102)
	A:「モルタル充填用 (深さ 30mm) 屋内用 二重蓋 密閉型 スチール製 ステンレス目地 1200*600*2 連」としてください。
71	Q:B1F チケット売り場において、カウンター・窓口の詳細を御指示下さい。(V-A018.102)
	A:別添「家具備品リスト」参照ください。
72	Q:B1F オフィス・受付において、受付カウンターの詳細を御指示下さい。(V-A018.102)
	A:別添「家具備品リスト」参照ください。
73	Q:各所 RC ベンチ造作の詳細を御指示下さい。(V-A102.103)
	A:「平面詳細図」及び「断面詳細図」を参照ください。
74	Q:1F 風除室において、ヨーロッパオーク フローリングの床下地はモルタル下地 t85 と考えて宜しいでしょうか。(V-A018)
	A:当該部分の床下地は「OA フロア+構造用合板 t12」としてください。
75	Q:1F 軽飲食テナントにおいて、移動間仕切壁・カーテン・カーテンレール・カーテン足元押え金物の詳細を御指示下さい。(V-A019)
	A:1F 軽飲食テナントは移動間仕切壁 遮音性能 56.8db(500Hz)「コマツウオール LW-60D 同等」としてください。
76	Q:1F 軽飲食テナントにおいて、キッチン、カウンターの詳細を御指示下さい。(V-A103)
	A:別添「家具備品リスト」参照ください。キッチンについては、平面詳細図を参照ください。

77	Q:1F 飲食テナントにおいて、レプションカウンター、飲食カウンターの詳細を御指示下さい。(V-A103)
	A:本工事外です。
78	Q:1F 多目的室において、可動間仕切の参考メーカー品番、上部補強鉄骨の詳細を御指示下さい。(V-A019.103)
	A:製品は「コマツウオール LW-100D2 同等」遮音性能 58db(500Hz)です。上部補強鉄骨は適宜想定ください。
79	Q:ブラインド、ウッドブラインドの参考メーカー品番を御指示下さい。
	A:別添「家具備品リスト」参照ください。
80	Q:耐衝撃性硬質樹脂コーナガード、SUS コーナガードの高さを御指示下さい。(V-A100)
	A:H900 としてください。
81	Q:サインプロット図がありますが、サインの仕様が不明です。詳細を御指示下さい。(V-A701~703)
	A:別添「サインリスト」参照ください。
82	Q:アート配置計画図に記載のアート作品は今回見積には含めないものと考えて宜しいでしょうか。必要でしたら見込み金額を御指示下さい。(V-A801)
	A:アートは本工事です。「V-A801 アート配置計画図」参照ください。
83	Q:FFE 配置計画図に記載の家具は本工事と考えて宜しいでしょうか。(V-A802~803)
	A:よろしいです。
84	Q:外部建具枠廻りのシーリングは、変成シリコン系 15×10 シングルロールと考えて宜しいでしょうか。
	A:よろしいです。
85	Q:建具キープラン(1)において、オフィス1 と後方通路 1 の間にカウンターらしき記載がありますが、建具符号が見当たりません。建具の寸法と仕様を御指示下さい。(V-A302)
	A:別添「家具備品リスト」参照ください。建具については欄間付きカウンターガラス引き戸 W900×H700(引き違い)+H700(FIX)としてください。
86	Q:建具キープラン(1)において、オフィス1 とオープン展示イベントスペースの間に窓らしき記載がありますが、建具符号が見当たりません。建具の寸法と仕様を御指示下さい。(V-A302)

	A:W1000×H1000 ガラス t5 としてください。
87	Q:建具キープラン(2)において、WC 前通路と EV ホール 2 前通路の間に開口がありますが、建具符号が見当たりません。建具は不要と考えて宜しいでしょうか。(V-A303) A:よろしいです。
88	Q:建具キープラン(2)において、厨房とカウンターの間に引き戸らしき記載がありますが、建具符号が見当たりません。建具の寸法と仕様を御指示下さい。(V-A303) A:不要と考えてよろしいです。
89	Q:建具キープラン(3)において、EV ホール 1 の外壁側に建具らしき記載がありますが、建具符号が見当たりません。建具は不要と考えて宜しいでしょうか。(V-A304) A:平面詳細図を参照の上、「地下外壁の点検口 450 角(アルミ製目地タイプ)」を見込んでください。
90	Q:建具キープラン(3)において、設備機器置場 1 の北側に AG5 の記載がありますが、壁にガリらしき記載が見当たりません。AG5 は北面と東面の 2 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。(V-A304) A:よろしいです。
91	Q:1 階防火防煙区画図において、軽飲食テナントと倉庫 4 の間に特が 2 つ記載されていますが、建具キープランでは SD4 が 1 ヶ所です。建具(特定防火設備)は 1 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。(V-A303.602) A:よろしいです。
92	Q:SD3 等について、仕上が ZN-M とありますが、塗装の仕様が不明です。御指示下さい。(V-A015.305) A:「亜鉛メッキ鋼板+メラミン樹脂焼付塗装」としてください。
93	Q:SD3 について、建具リストでは防火設備とありますが、防火防煙区画図では 1 階オフィス 2 の建具に防の記載がありません。防火設備 4 ヶ所、規制なし 1 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。(V-A305.601) A:よろしいです。
94	Q:SD9 について、防火防煙区画図では防の記載がなく、1 ヶ所が異種用途区画に設置しています。防火設備 1 ヶ所、規制なし 2 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。(V-A305.602) A:「V-A305」参照ください。

95	Q: AW1 について、建具リストでは外倒しアルミサッシュ排煙窓とありますが、姿図より排煙窓付片開き戸に読み替えて宜しいでしょうか。(V-A306)
	A: よろしいです。
96	Q: AW5 について、FIX 部の H 寸法が記載されていません。H2,900+900 と考えて宜しいでしょうか。(V-A306)
	A: よろしいです。
97	Q: AW9 について、防火防煙区画図では防火設備とありますが、建具リストでは記載がありません。法規制なしと考えて宜しいでしょうか。また必要な場合はガラスの仕様を併せて御指示下さい。(V-A306.603)
	A: よろしいです。
98	Q: AW12 について、H 寸法の記載がありません。H900 と考えて宜しいでしょうか。(V-A306)
	A: よろしいです。
99	Q: GB1 について、建具リストにコンクリート枠とありますが、アルミ枠はなしでしょうか。納まり詳細を御指示下さい。(V-A307)
	A: アルミ枠を適宜見込んでください。
100	Q: SS1.3.4.7 について、建具リストでは防火設備とありますが、防火防煙区画図では特定防火設備と相違しています。特定防火設備を正と考えて宜しいでしょうか。(V-A307.308.601~603)
	A: よろしいです。
101	Q: AG3 について、建具キープランでは風除室に符号がありますが、どの面に取り付いているのか不明です。御指示下さい。(V-A304)
	A: 屋外倉庫南東側外壁面に見込んでください。
102	Q: AG3 について、建具リストでは防火設備とありますが、防火防煙区画図では記載がありません。法規制なしと考えて宜しいでしょうか。(V-A308.603)
	A: V-A603 を正として防火設備としてください。
103	Q: STD2.4~9 について、建具リストでは片開きとありますが、姿図より片引きと読み替えて宜しいでしょうか。(V-A309)
	A: よろしいです。
104	Q: STD2 について、建具リストでは防火設備とありますが、防火防煙区画図では記載がありません。法規制なしと考えて宜しいでしょうか。(V-A309.601)
	A: よろしいです。

105	Q: SSD2 について、建具リストでは両開きとありますが、姿図より親子開きと読み替えて宜しいでしょうか。(V-A309)
	A: よろしいです。
106	Q: SSD6 について、防火防煙区画図では 1 階消火ポンプ室の建具に防の記載がありません。堅穴区画の為、防火設備と考えて宜しいでしょうか。(V-A309.601)
	A: よろしいです。
107	Q: SSD8 について、建具リストでは防火設備とありますが、防火防煙区画図では記載がありません。法規制なしと考えて宜しいでしょうか。(V-A309.601)
	A: よろしいです。
108	Q: SSD10 について、建具リストではフラッシュ戸とありますが、姿図より FIX 付框戸と読み替えて宜しいでしょうか。(V-A309)
	A: よろしいです。
109	Q: SSD12 について、建具リストでは法規制なしですが、防火防煙区画図では 2 階屋外倉庫に防火設備とあります。防火設備 1 ヶ所、法規制なし 1 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。(V-A309.603)
	A: よろしいです。
110	Q: 衝突防止表示について、サインロット図ではシート製、特記仕様書ではステンレス製と相違しています。サインロット図を正と考えて宜しいでしょうか。(V-A012.701)
	A: よろしいです。
111	Q: 建具工事について、塩害対策がありましたら詳細を御指示下さい。
	A: 各メーカーの標準的な塩害対策仕様とお考えください。
112	Q: 下記の項目について、仕様・詳細を御指示下さい。(V-A501) ・雨水側溝(U 字側溝) ・浸透トレンチ管 ・雨水管渠
	A: 別添「V-A503_外構詳細図 (2)」をご参照ください。雨水側溝(U 字側溝)については、PU 側溝+スリット側溝としてください。
113	Q: 集水枳(一般)について、寸法(H・H1~3・B1)が不明ですので御指示下さい。(V-A502)
	A: 「集水枳□500×720 H:720 H1:870 H2:150 H3:980 B1:800」としてください。

114	Q:植栽について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。(V-A501) ・モチノキ：H1000+地下支柱固定共 ・カンツバギ：H400 程度 ・ソコバシ：H1000+地下支柱固定共 ・エゾイタヤ：H1000+地下支柱固定共 ・エノキ：H1000+地下支柱固定共 A:よろしいです。
115	Q:2F 展望デッキの屋上緑化-人工木ウッドデッキ間の見切縁について、仕様・詳細が不明ですので御指示下さい。(V-A111) A:「V-A209」盛土取り合い部分断面詳細図と同様の仕様を見込んでください。
116	Q:参考内訳書の外構について、下記の項目について施工範囲が不明ですので御指示下さい。(参考内訳書 P.39) ・地下1階屋上 割栗石敷 H200 程度(塗膜防水面)：48.8m² ・土間コンクリート 割栗石敷(コンクリート面)：7.1m² A:「V-A103f 1階平面詳細図(拡大)(6)」及び「V-A103h 1階平面詳細図(拡大)(8)」参照ください。「割栗石：300～450mm」との記載があります。
117	Q:工事エリア内既設 WC の使用可能でしょうか A:使用可能です。
118	Q:本設電源の引込み位置及び時期について御教示願います。 また、仮設電源として利用できる供給源は工事エリア内にあるものとしてよろしいでしょうか。 電気使用量については施工者負担と考えてよろしいでしょうか。 A:関連工事にて別途発注予定で、当工事の契約期間内に供給を開始する予定をしています。また、仮設電源については工事エリア内に利用できる供給源が無い場合、供給業者と協議の上、仮設引込みを行ってください。使用料については施工者負担となります。
119	Q:本設給水管の引き込み位置及び時期について御教示願います。 また、仮設給水として利用できる供給源は工事エリア内にあるものとしてよろしいでしょうか。 水道使用量については施工者負担と考えてよろしいでしょうか。 A:関連工事にて別途発注予定で、当工事の契約期間内に供給を開始する予定をしています。また、仮設給水については工事エリア内にある既存の供給源を利用できます。ただし、使用料は施工者負担となります。

120	Q:参考設計書に 50t クローラーの記載がありますが、揚重機等仮設計画については施工者計画積上げによる算出とし必要な揚重機等に関しては追記計上として入札時提出すると考えてよろしいですか。
	A:よろしいです。
121	Q:解体工事中の仮囲いは本工事着工前にはないものと考えてよろしいでしょうか。
	A:お見込みのとおりです。
122	Q:PC 工事について定着具等躯体との干渉について別紙懸念点があります。現在調整中と考えてよろしいでしょうか。別紙御参照願います。
	A:工事着工後、協議によるものとします。
123	Q:技術提案評価基準について どの評価項目も最大3提案であるが評価点数はそれぞれ 8.0、6.0、4.0 となっているが1提案の評価につき〇〇点加点する等 基準はあるのでしょうか。ご教示お願いいたします。
	A:公告の記載のとおりです。